

ある町の 天気相談所

Vol.105 2026.09.04

令和8年9月号



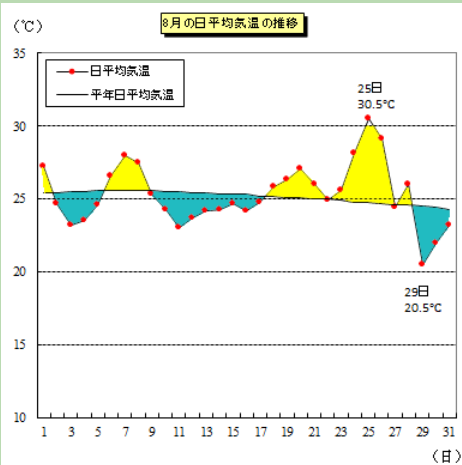
台風第15号

8月5日に発生し日本の南東の海上を北西へ進み、11日朝にはいわき市の沖合まで北上しましたが、西南西へと進み、11日20時頃に、茨城県南部へ上陸しました。その後、関東地方を西へ進み、12日9時には日本海に達して、熱帯低気圧に変わりました。関東地方を東から西へ進む珍しい台風で、茨城県への上陸は、気象庁の観測開始以来はじめての事でした。

台風は暴風域はありませんでしたが、台風中心が接近した際に風が強まり、市役所観測所では最大瞬間風速33・0メートルを観測。この記録は市役所観測所での最大瞬間風速の観測開始以来5番目に強い記録です。日立市では雨は強まらず、11日の総降水量は8ミリでした。しかし、台風通過後に湿った空気が入りやすくなったため、16日にかけて雨が降りやすく総降水量は88・5ミリとなりました。

8月の気候

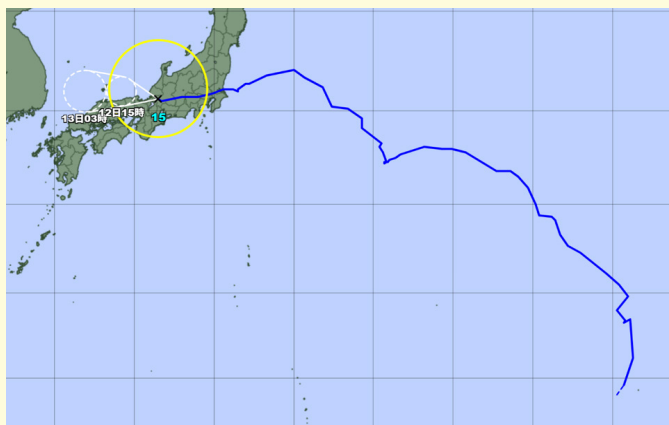
8月は、はじめ東北地方の前線の影響で湿った空気が入りやすく、11日には台風が茨城県を進みました。下旬は猛暑日があり、平均気温は25・3度と平年並みとなりました。雨が降る日が多く、降水量は上旬は少なかったですが、中旬以降は大雨が不安定となったため、月合計降水量は134・5ミリと平年の111・1パーセントとやや多く、日照時間は144・3時間と平年の86パーセントと少なくなりました。



一ヶ月予報 (気象庁発表)

天気は数日の周期で変わり、はじめは活発な秋雨前線の影響があり、曇りや雨の日が多い予想です。平均気温は「高い」、降水量は「多い」、日照時間は、「ほぼ平年並み」となる見込みです。

熱台風第15号 (続き)



天気用語の基礎知識

レベル5大雨特別警報の行動
すでに安全な避難ができず、命が危険な状況のため、むやみに移動せず、今いる場所よりも安全な場所へ移動して身の安全を確保することが発表されたときに取るべき行動とされる。特に浸水した場所、河川・用水路へは絶対に近づかない。

令和8年千葉豪雨などの際は、車で移動中に立ち往生し水没することが多くあったため、冠水した道路には侵入することはせず、安全な場所に駐車し状況が落ち着くまで待機することも必要です。

(参考・内閣府等で作成したパンフレット)

・・・神峰の山から・・・

普段から夜中に目が覚めるのですが、目が覚める時間はばらつくことが多いです。もう一度寝ることはできるのでまだ良いのですが、目が覚める時間が、午前2時頃だと、「まだ数時間眠れるぞ」と少し嬉しいものです。一方、いつも起きている時間の30分前だと、ちょっと悲しくなります。でも、夜中の地震で目覚めたり、雨の音でめざまたりするよりは、まだましだと思っています。もっとも悲しい目覚め方の一つが先日ありました。それは、足がつって目が覚めるです。

痛い上にその後眠れなかったり、起きてからも影響が続きます。